

第六期長期策定委員会 傍聴者アンケート
第13回実施分（令和元年5月28日開催） 自由記載欄
【傍聴者 16名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。 ※傍聴者12名記載

<p>・武蔵野市の都市マーケティングにおいては知名度が高い吉祥寺を活用していくのは当然のことであり、武蔵野市全体の繁栄のためにも、正々堂々と議論していくべき内容だと思います。故に、計画案で大人しく八方美人にする必要はないと強く考えます。</p>
<p>・委員の方の①Xmas ツリー（はじめに木ありき、委員会は飾りを考えるだけ?）、②IT への対応が遅れている（対応できる人材、職員の養成が必要）、行政、職員の方々は重く受け止めて欲しい。</p> <p>・岡部委員の「市議が素案を読み込んでなくてびっくりした」と激怒。市議は情けない。猛省お願いしたいですネ</p>
<p>・まちづくりに関する話しが中心だったが、まちを作っているのは「人」であることが忘れられているのではないかと印象を受けた。来外者に目が向いているが、まちに生活している「人」、市民の健全な生活あってこそそのまちづくりで、そのための基礎的な議論なのか?と感じた。</p>
<p>・先生方の議論が熱いことに新鮮な驚きを感じました。</p>
<p>・1. 中村委員、栗原委員の提起した話題（例えば吉祥寺駅周辺のまちづくり— 選択と集中—これはひとつの例かもしれない）についての議論が印象に残った。—“委員会”全体としての“議論”がし足りない?（時間が無い?）</p> <p>・2. スローガンが“未来に挑戦、ムサシノ市”になった（決まった?）のに驚いた。—これでいいの??</p>
<p>・公共交通（バス等）の駅への乗り入れが悪いのが問題でないか?（3駅とも、特に吉祥寺駅）</p>
<p>・吉祥寺特出し論はおもしろかったです。私も吉祥寺は好きですが、自治体の計画ですので、価値観の上下をつけてしまうような記述は避けるべきです。また、市民の感覚としてどうなのかな。吉祥寺にたくさん遊びに来て、自分たちの仕事・くらしは楽にならないけど～みたいな感じはないですか。</p> <p>選択と集中が、街の格差や市民の格差拡大に結びつかないことを願います。</p> <p>企業の投資は選択と集中で結構です。</p>
<p>・栗原委員の No.11意見、不登校児についての調査について、当事者への調査を行っていないのは明らかであり、ぜひ調査結果を拝見したいです。</p>
<p>・情報化社会についていけない。そのとおり。</p> <p>・武蔵境の人たちはにぎわいが足りないと感じているのだろうか? 個人的には自転車で30分で行ける吉祥寺があるので境は静かで緑が多いのがいい。高い建物もいらぬ。吉祥寺にはがんばってもらいたい。</p>
<p>・三駅圏(P58～59)に関する議論。</p>
<p>・すべてです。</p>
<p>・委員の方の熱心な議論を聞きながら、6/15公表の計画案をどうしたらわかりやすく読んでいくことができるか、老若男女という言い方は古いでしょうが、それぞれの立場で意見を出していけるか、市民の側からも何かしらできないかなど思ったりしています。事前告知、できるだけ早めをお願いします。</p> <p>・物件費が上がるのは、人件費を削減したことも影響しているのではないのでしょうか。国の方針もあつたのではないかと思っています。</p>

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。 ※傍聴者12名記載

<p>・長期計画においては、シビックプライドの重要性和市民の中におけるその形成支援を打ち出すべきと思います。他の街を見てきても、活力のある街はそれが作り上げられています。そしてシビックプライドというのは、今までの議論で出されていたような自然と市民の心に芽生えるというのではなく、積極的に市民の心に芽生えさせるべきものであり、その工夫が市政に求められると考えます。</p> <p>・また、ICTやSNSの発展の中で、社会経済活動も変化していきます。それに伴い、コミュニティの質や形、そしてあり方も大きく変化すると思います。それにあわせてコミュニティ施策や情報発信のあり方を研究、実践していく必要があると思います。</p>
<p>・都市基盤の女子大通りの問題について、女子大通りを考える会と市の職員との協議を続けている中で、(市の姿勢は一貫していて、沿道住民とかみ合っていないが)、「都に強く要望」という一文は納得できません。望んでいる方々と困っている沿道の住民と大きな溝があり、コミュニティーが崩壊するかもしれません。市はそんな状況を望んでいるのでしょうか？ 歩道の改善は必要ですが、本当に16m必要ですか？ もっと良い形を模索してみませんか？</p>
<p>・「動物愛護」が環境問題として、動物の問題と捉えられているが、子供の数を超えるペットが家族として生活している現実を忘れないで欲しい。「動物の問題」として捉え、「人」の問題と分けてしまうことは根っこでつながっている問題を切り離してしまうことで、問題の解決につながらず、問題を見誤ることになると考える。「環境問題」だけでなく、「福祉」「教育」「防災」の категорияにも明記していただきたい。1ヶ所に記載すれば良いテーマではないはず。</p> <p>「東京都のハルスプランに準ずる」ということだが、都のハルスプランが武蔵野市の状況に完全に合致するものではなく、市としての独自のプランを作る必要があるため、その点においても「検討する」などの一文を明記していただきたい。</p>
<p>・この間のスケジュールを見て、「作業部会」が数多く開かれていることに驚いた。と同時に全体としての議論がやりきれていない？ ような感じがした—今日の議論はそういう意味で面白かった。</p> <p>・長期計画の“スパン”は<u>10年</u>なのだが、10年(のまちづくり)でいいのか？ と思った。将来が見通せない時代なのは分かるけれど…。</p>
<p>・公園緑地、農地、屋敷林、雑木林、水辺の緑、街路樹などをそれぞれの成り立ちや特性に応じた保全管理によって守り・育て、厚みのある緑と水のネットワークの形成を具体的に推進(PDCA)していくことを切に願います。(市民と行政の協働)</p> <p>生物多様性、生態系ネットワーク、歴史文化の継承、本市の個性による魅力度、シビックプライドの向上に大きな力になると思います。</p>
<p>・吉祥寺は市民(三鷹、武蔵境)にとって便利な町(駅)ではないと思います。(自転車で行きにくい)</p> <p>・市民にとって便利な駅前開発して欲しい。</p> <p>・新たな発想の施策を検討すべきでないか？(新たなツリーを検討する)</p>
<p>・①P39 不登校児対策で、チャレンジルームに通えている子供は不登校児の3割の実態の中で、残りの7割の子供への対応はどうされていますか？</p> <p>・②市民向けの意見交換会の日程について、最低1ヶ月以上前に通知すべきです。</p> <p>FBでイベントなど告知する時など人を集めたい時はみなさん1ヶ月前、2週間前、1週間前、2日前、当日など数回に分けて告知する事により人が集まる法そくがある位です。</p> <p>上手く、Webや情報発信をして下さい！！</p>

- ・P39(4) 多様性は理解できても、できなくても、現実。なので理解できない人がいてもどうしようもなく、多様性は認め合うもの。言いかえると、自分と異なる価値観に対して自分の価値観を押しつけなければいい。
- ・P36(2)「一人ひとりの子どもの状況に応じた」と「利用者が自分のニーズに合わせて」前者では子どもに合わせて、後者では親に合わせてなっていて、どっち？に合わせるの？
- ・P34(6)「こころの健康づくり」は良いと思います。P36(1)と(2)で「家庭への支援」と書きながら保護者へのこころのケアがどうしても追加されないことについてどうにかならないかと思い福祉を見たら載っていて、これはいいなと思いました。ただ、ここでは第1段落が高齢者についてなので、第2段落もそうなのかなとかんちがいしそうです。すべての市民が対象だということが分かるといい。
- ・P37(1)「利用者支援事業を武蔵境地区にも新たに実施」で「にも」とあるが、それに対応する㊦と㊧の事業とは何でしょうか？
- ・P37(1)タイトルの「充実」のために、新たに活動を始めたい団体をサポートすることが必要。無償のボランティアで継続するには、どこかの時点で折れたら続かない。始めるときはやる気がMAX。協働の形にしていくべき。
- ・P37(1)0123を中心とすると多様な子育て支援ニーズに対して3才までしか対応できない。ぜんぜん多様なニーズに対応しているように読めない。それより0123の多世代利用化をしないと。
- ・P35～41 中高生の活動について書き込みが無い。
- ・P39(4)「武蔵野市民科」を書き込むのはいいが、内容についてはあくされてますでしょうか？ 受験をひかえた中3まで行なうこと、普通の学校で行うカリキュラムに追加で教員に負担が増えること、都立武蔵中の地球学との比較、学校図書館しよの配置、まだまだ検討が必要なことが残っています。ここに書き込んだがために、子どもたちにしわよせがこないようにしてほしい。いつでもやめられる書き方にして逃げ道を作るのがいいと思う。研究？ 検討？
- ・境山野緑地で2月に行われた伐採による萌芽更新に順調に進んでいます。機会がございましたら散策して下さい。

・吉祥寺に重点投資してその波及効果を中央と西に活かすという考え方に反対です。各々の圏域に個性があり、それをいかに活かすかが重要です。素案では吉祥寺18行、三鷹11行、武蔵境8行であり、ここに委員会の「吉祥寺中心主義」が表れていると思います。しかも吉祥寺には小見出しまでついている。武蔵境には、江戸時代から続く、ある意味でもっとも武蔵野らしい資源である雑木林、農地、屋敷林、玉川上水があります。桜堤地区も緑被率が非常に高く、生物多様性のポテンシャルが高いです。この歴史的・自然的な資産を生かすことが武蔵境地域の発展に大きく寄与すると考えます。にもかかわらず、むしろ緑は吉祥寺(井の頭公園)、三鷹(玉川上水)に書かれており、武蔵境には書かれていません。このアンバランスはどこから来ているのでしょうか。委員会全体が都市化志向、非自然型緑志向になっていると感じます。

三駅圏の特色、資源を平等に評価し、バランスのとれた三駅圏構想をつくって頂きたいと思います。武蔵境地域については、歴史的・自然的な緑の資源を活かした地域アイデンティティの形成を促してほしいと考えます。

ついでながら、武蔵野地域の歴史と現代的特性をふまえるならば、最先端の都市機能を備えた吉祥寺と、自然・歴史を現代的に再創造して持続可能性の高い共生社会を実現する武蔵境という複眼エリア都市をつくっていく、その2つのエリアをつないで統合力を高める拠点エリアとして三鷹がある、という考え方が大切ではないでしょうか。ぜひとも、委員会でもっとブレイクスルーできる議論を展開してもらいたいです。

・コミュニティについても、市民活動についても協働は大切です。資料2にある No.15の「協働」を強調する栗原委員の意見に賛成です。とくに市民活動促進の個別計画では、「市民活動の促進」と行政を含む「マルチステークホルダー間の協働」を基本としています。

しかし、素案のP44～45では「支援」で統一されています。事務局説明ではP22に「協働」がベースになっているから問題ないということでしたが、それぞれの該当箇所でも書くべきではないでしょうか。さもないとすれば「促進」と「協働」を基本とする個別計画を、「支援」というスタンスにとどまる長計が否定することになるのではないのでしょうか。

・「障害の有無に関わらず共に学ぶ」文を入れるのはとてもいいと思います。インクルーシブ教育の理念を追求するには、通常学級の在り方、基礎的環境整備をあらためていく必要があると思います。そうすることによって、すべての子どもたちが一緒に学びあえる姿になっていくと思います。環境整備については、学校の建て替えの計画にもかかわってくるので(エレベーターや教室などの配置含め)そのポイントもどこかに加筆してほしいです。

・「武蔵野市民科」は、「市民性を高める教育」であることをもう少し書き加えていただくか、あるいは「武蔵野市民科」という言葉を使わずに表すことはできないでしょうか。小中一貫教育検討委員会やあり方懇談会での判断をふまえたうえで、小中連携にこだわらず、全学年、学校ごとにやる。中学校区にこだわらないで教員の自主性を尊重することが必要ではないかと思っています。市教委の検討だけでは、シビックプライドになるか、不安です。

・再度のお願いですが、6/15市報本体にも計画案と意見交換会についてふれていただけるようお願いいたします。

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)